

北海道大学病院・循環器・呼吸器外科，消化器外科Ⅰ、乳腺外科に
過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ，
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録と研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 病理組織検体の核酸品質に関する外部精度評価

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 病院長 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属]

畑中 佳奈子・北海道大学病院 先端診断技術開発センター・特任講師

[研究協力機関・機関代表者名]

日本病理精度保証機構 (JPQAS)・中本 丈也

外部精度評価 (EQA) に参加する医療機関および検査機関 300~400 施設 (見込)

※過去の本事業参加施設 (全 344 施設) に関する情報：

http://www.jpqas.jp/katsudo/#anc_01

[研究の目的]

全国規模での FFPE (ホルマリン固定パラフィン包埋) 検体の核酸品質の調査を実施し、各施設の FFPE 検体の核酸品質の向上および均質化を図ることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院にて、2016 年 1 月~2020 年 12 月に手術を受けられた肺癌、乳がんまたは大腸癌の方。

●利用する検体

検体：手術によって切除され、その後標本作製のための処理をした組織 (ホルマリン固定し、その後パラフィン (いわゆるロウ) に埋めた組織) の一部。

カルテ情報：手術日、臨床診断、病理診断、検体処理方法

この研究は、日本病理精度保証機構の外部精度評価 (EQA) 事業の一環として行われます。上記のカルテ情報は、日本病理精度保証機構に EQA 報告書の作成のため提供いたします。

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 先端診断技術開発センター 燕 果歩

電話 011-706-7933